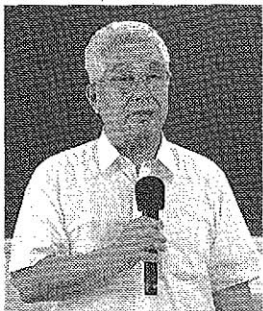


職人不足に加え 材料不足を懸念

フローリング協
が7月度例会

フローリング協会（小黒邦雄会長）は、東京都墨田区のすみだ産業会館で、2012年7月度例会を開いた。

小黒会長は「先行きの見通せない世の中だけに、自分の会社をつぶさないようにしな



ければならない。業界を見渡すと、勝手に足を引っ張り合っているきらいがある。負けたくないという気持ちは分かるが、強欲をもう少し、少なめにする事で、全体はプラスになる。協調精神を持って、話し合いができたらもう少し良くなるのではないかと苦言を呈した。写真。

また、6月22日の合同PRに触れ、「中央官庁の訪問も今年で2回目となった。いろいろな話を聞け、フローリングのアピールもできる。今後もしも継続してやっていくべきだ」との考えを示した。

例会では、施工部会、床製造無垢部会、床製造複合部会、

置床・鋼製床部会、建販商社部会の各部会長から活動が報告された。

施工部会から、「職人が不足しているのか、付き合いのないところから問い合わせがきている。予算の合う業者がないこともあるのかもしれない」「パーチクルボードが不足している。職人は確保したが、材料がないでは」「職人は大丈夫ではなく、前工程がどうなの、ということだ。前工程次第で、去年と同様に職人不足になる」といった意見が出され、職人不足に加え、材料不足を懸念している。

第2部の講演会では臼井日出男前法務相が講演した。